

準半壊以上の記載例

【記入例】修理見積書

(全壊 ・ 大規模半壊 ・ 中規模半壊 ・ 半壊 ・ 準半壊

※ 市町が発行する「り災証明書」等に基づき、該当する被害の程度に○をつけてください。

見積金額 (総工事費) 450,000 円 (消費税込)

☑ 「住宅の応急修理」申込関係

見積金額(応急修理分)(※1) 348,000 円 (消費税込)

見積金額(被災者負担分) 102,000 円 (消費税込)

例では、応急修理対象分の金額は45万円だが、限度額34.8万円を超えることから、34.8万円を記載する。

Table with 4 columns: 工事名称, 金額(消費税込), うち応急修理対象分(※2), 備考. Rows include window exchange, wall repair, floor repair, and a total row.

※1 1世帯あたりの限度額を超える場合は、限度額を記載すること
<限度額>全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊の場合： 717,000円の範囲内
準半壊の場合： 348,000円の範囲内

※2 「うち応急修理対象分」欄の金額が、限度額を超える場合、限度額を超える部分についての同欄の記載は「-」としてよい

※3 上表の内訳を添付(修理業者指定の様式で可。)すること

〇〇〇市町長 様

(※修理業者記入) 上記のとおり見積書を提出します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

Form for repair contractor with fields for address, company name, phone number, and representative name.

(※修理申込者記入) 上記の見積書を確認しました。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

Form for repair applicant with fields for address and name.

(※市町記入欄)

Table for municipal office with columns for city name, receipt number, and recipient name.